

歯科材料 03 義歯床材料
管理医療機器 義歯床補修用レジン（70831000）
（義歯床用接着材料（70834000））**

ジーシー デンチャーエイド LC

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

【主材】

形状

- ・キャタリストペースト：円柱状 16 g
- ・ベースペースト：円柱状 16 g

主成分

- ・キャタリストペースト：
メタクリル酸エステル、シリカ微粉末、ポリウレタン
- ・ベースペースト：
メタクリル酸エステル、シリカ微粉末、ポリウレタン

原理**

ペースト状であり、キャタリストとベースの混合による化学重合及び可視光線の照射によりモノマーの重合が起こり硬化する。

【エアバリヤー材】

形状：液体 30 g

主成分：蒸留水、水溶性高分子

【ジーシー デンチャープライマー】**

形状：液体 15 g (13 mL)

主成分：塩化メチレン、メタクリル酸エステル

【使用目的又は効果】**

義歯床の裏装、改床又は補修に用いる。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) ポリカーボネート樹脂、ポリスルホン樹脂、ポリエーテルスルホン樹脂製義歯床へは、十分に接着しない恐れがあるので、使用を避けること。
- 2) 本材をレジン系の硬化物に追加築盛する際、表面がプライマーで濡れている状態を維持するためにジーシー デンチャープライマー塗布後のエアによる乾燥は行わないこと。（本材以外を追加築盛する際は、プライマーの添付文書に従い、エア乾燥を行ってください。）
- 3) 付形作業後に残った本材は、容器に戻さず廃棄すること。（練和後の本材は化学重合により硬化が進むため、保存はできません。）*
- 4) 本材は、強い光を発する照明用スタンドやデンタルユニットの無影灯下での作業は避け、通常の室内光の下で使用する。
- 5) ハンディタイプの歯科重合用光照射器のみで、広範囲に渡る義歯床の補修や床延長などの最終重合は行わないこと。[均一な硬化物が得られない可能性がある。]*
- 6) ハンディタイプの歯科重合用光照射器は、ボックスタイプの光照射器では届きにくい部分の追加重合や、重合面積の小さな補修時にのみ使用すること。*

【使用方法等】

【直接法】

- 1) 収納用ケースへのペーストの収納
アルミ袋に封入されているペーストをイントロダクトリセットに付属している収納用ケースに移します（収納用ケースに移さなくてもご使用できます）。ペースト詰め替え時には必ず収納用ケース内部を確認し、汚れている場合にはアルコールワッテなどで清掃します。
- 2) 義歯床補修面の削除
安定した接着力を得るために、本材を接着させる部分の義歯床を一層削除し、新鮮面を露出させます。金属床の場合は、新鮮面露出後にサンドブラスト処理を行います。

3) プライマーの塗布

露出した義歯床新鮮面に、材質に合わせて各種プライマーを塗布します。アクリル系義歯床の場合は、ジーシー デンチャープライマーを塗布します。この際、義歯床表面がプライマーで濡れている状態になるように、プライマーは重ね塗りを行います。エアによる乾燥は行いません。
金属床の場合は、金属被着面をアルミナサンドブラスト処理により新鮮面を出した後、エアで清掃し、新鮮面を出してからジーシー メタルプライマーZを、一層塗布します。金属床（貴金属、チタン）の場合、ジーシー メタルプライマーZを塗布した上にジーシー ユニファストIIやユニファストIIIなどを薄く一層盛ることで、より高い接着力を得ることができます。*
プライマーは、本材を接着させる材質に合わせて、下記の製品を使用します。

接着させる材質	使用製品例
アクリル系義歯床用レジン、 レジン/硬質レジン人工歯、 アクリル系歯冠用レジン	ジーシー デンチャー プライマー
各種金属 (コバルトクロム、貴金属、チタン)	ジーシー メタルプラ イマーZ

ジーシー デンチャープライマーの塗布に使用した筆は、アルコール又はジーシー レジンプラシクリーナーを使用して洗浄します。

- 4) ペーストの採取、練和
スパチュラなどでベースペーストとキャタリストペーストを等量切り取り、色が均一になるまで約 30 秒間、グローブを着用した手指で練和します。
- 5) ペーストの圧接と付形
各種プライマーを塗布した義歯床に、練和したペーストを圧接し、手指で大きめに付形します。
なお、アクリル系義歯床の場合、ペーストの移行部にデンチャープライマーを追加塗布すると、より良好な辺縁封鎖性が得られます。
- 6) 口腔内挿入、機能運動
ペーストを圧接した義歯床を口腔内に挿入し、機能運動を行います。
- 7) 口腔内からの撤去
1次硬化（化学重合）完了後に、口腔内から義歯床を撤去します。追加築盛を行う場合は、義歯床を水洗・乾燥した後、ジーシー デンチャープライマーを塗布してから本材を盛り足します。
- 8) エアバリヤー材の塗布
義歯床を軽く水洗した後、化学重合が完了したレジン面全体にエアバリヤー材を筆で塗布します。*
- 9) 光重合（最終重合）
歯科技工用重合装置等にて光照射を行い、重合を完了させます。光照射時間は下表の通りです。*

<歯科重合用光照射器と光照射時間>*

照射器	レジンの厚み	
	4 mm 未満	4 mm 以上
ハロゲンランプ歯科重合用光照射器	10 秒照射	10 秒照射後、 反対面から 10 秒照射
LED 歯科重合用光照射器 (700 mW/cm ² 以上)* ¹	10 秒照射	10 秒照射後、 反対面から 10 秒照射
LED 歯科重合用光照射器 (2000 mW/cm ² 以上)* ²	3 秒照射	3 秒照射後、 反対面から 3 秒照射
歯科技工用重合装置* ³	3 分照射	3 分照射後、 反対面から 3 分照射

- ・ハロゲンランプ歯科重合用光照射器：有効波長域が400～515 nm
- ・LED 歯科重合用光照射器：光源が青色LEDで発光スペクトルのピークトップが450～480 nm

- ※1：例えば
G-ライト プリマII Plus 10 モード
スリムライト Low モード
- ※2：例えば
G-ライト プリマII Plus F3 モード
スリムライト High モード
- ※3：歯科技工用重合装置
例えば
ラボキュア HL、ジーシー ラボライト DUO

- 10) エアーバリアー材の水洗
重合完了後、エアーバリアー材を充分に水洗します。
- 11) 形態修正と研磨
技工用カーバイドバーやシリコーンポイントを用いて、形態修正を行います。スムスカットなどの目の細かいバーやスチールバーでは切削性が低下する場合がありますので、技工用カーバイドバーの使用をお勧めします。不足がある場合は、新鮮面を露出させた後、ジーシー デンチャープライマーを塗布し、本材を追加築盛します。仕上げにバフ研磨を行うことで、容易に光沢が得られます。
- 12) 最終確認、完成
非硬化型の適合試験材（ジーシー デンチャーフィットチェック等）を使用して適合の確認をし、調整を行って完成させます。*

〔パーシャルデンチャーの増床・増歯〕

- 1) 本材を接着させる部分の義歯床を一層削除し、新鮮面を露出させます。
- 2) 新鮮面を露出させた部分に、材質に合わせた各種プライマーを塗布し、練和したペーストを圧接・付形します。
- 3) レジン/硬質レジン人工歯の基底面をペーパーコーンなどで粗らし、ジーシー デンチャープライマーを塗布します。
- 4) 人工歯をペーストに圧接し、ペーストを付形します。
- 5) エアーバリアー材の塗布、光照射を行い、調整を行って完成させます。

〔間接法〕

- 1) 模型上にて間接法で作業を行う場合には、本材と接触する部分にコアバターを少量塗布した後、口腔内直接法と同様の作業を行います。

〔使用方法等に関連する使用上の注意〕

- 1) 収納用ケースに移す際、及びペースト採取時は、ペーストに汚れが付着しないように注意すること。
- 2) ペーストがベタ付きやすくなり、操作性が著しく低下することから、使用前に本材を温めないこと。ペーストを柔らかくしたい場合は、練和時間を長くして硬さを調整すること。
- 3) ペースト採取時は素早く必要量を切り取り、未使用部分はイントロダクトリーセット付属の収納用ケース（又は製品の入っていたアルミ袋）に戻して光が当たらないようにすること。
- 4) スパチュラなどは、ペースト切り取り毎に必ず清掃すること。一方のペーストが付着したままもう一方のペーストを切り取ると、2つのペーストが接触し、未使用のペーストの一部が硬化する恐れがあるので注意すること。
- 5) 本材を練和する際、重合阻害の原因となるので、グローブやペーストにワセリンや水などを塗布しないこと。また唾液や血液、その他異物が付着した状態で練和を行った場合も、重合阻害を起こすので注意すること。
- 6) 色が不均一な練和状態だと化学重合時間が遅れ、口腔内撤去時の変形につながるので注意すること。
- 7) 化学重合前に変形させずに口腔内から撤去したい場合は、ハンディタイプの歯科重合用光照射器で必要部位に 10 秒ずつ光照射し、変形しないことを確認してから撤去すること。*
- 8) 各種プライマー及びエアーバリアー材の塗布には専用の筆を区別して使用し、混用は避けること。〔製品本来の性能が得られない可能性がある。〕*
- 9) エアーバリアー材は口腔内で使用しないこと。〔洗浄が困難になる可能性がある。〕
- 10) 小分けしたエアーバリアー材は、元の容器に戻さないこと。〔変質が起こる可能性がある。〕

- 11) 光が到達しにくい部分がある場合は、ハンディタイプの歯科重合用光照射器にて追加重合すること。ハンディタイプの歯科重合用光照射器で良好に重合できる範囲は、ファイバーロッドの断面積に依存するので、断面積以上の範囲に光照射する場合は、数カ所に分けて行うこと。また、反対面からも光照射を行うこと。*
- 12) 重合後、エアーバリアー材を充分水洗すること。
- 13) 追加築盛を行う場合、盛り足し部分がよく馴染み境目がでないように、また気泡が混入しないよう注意すること。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ① 薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ① 本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
 - ② 本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ③ 本材は可燃性であることから、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
 - ④ 光照射の際は、保護メガネなどを使用し、照射光を直視しないこと。〔目を痛める可能性がある。〕
 - ⑤ エアーバリアー材は直接素手で触れないこと。また皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着した場合は、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し眼科医の診断を受けること。
 - ⑥ 他の製品と混用しないこと。〔製品本来の性能が得られない可能性がある。〕
 - ⑦ 本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
 - ⑧ 本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
 - ⑨ 本材については、試験による MR 安全性評価を実施していない。（自己認証による）

- 3) 相互作用（他の医薬品・医療機器との併用に関すること）

（1）〔併用注意〕（併用に注意すること）*

- ① 本材の硬化直後には、付加型シリコーン系材料（ジーシー フィットチェッカー ONE、ジーシー リラインII、ジーシー エクザファイン、ジーシー エクザデンチャーなど）を使用しないこと。〔シリコーン側の硬化を阻害する可能性がある〕
- ② 適合試験の際には、非硬化型の適合試験材（ジーシー デンチャーフィットチェック等）を使用すること。
- ③ 適合試験に付加型シリコーン系材料を使用する場合は、1 日以上間を空けてから使用すること。〔硬化阻害により、適切な適合診査が行えない可能性がある。〕

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）を避けて保管する。
- ・本材は要冷蔵保管とし、使用後は必ず冷蔵庫に保管する。
- ・本材は、ベースペーストとキャタリストペーストが接触すると重合する性質があるので、必ず別々の容器に保管する。
- ・本材は、光により重合を開始する特性を有しているので、必要量採取後は速やかに容器を密封し遮光する。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。
- ・エアーバリアー材は、使用後すぐに密栓する。
- ・エアーバリアー材使用後は、ノズルの先に付着した液を拭いてから蓋を閉める。
- ・エアーバリアー材塗布用の筆は、使用後必ず水洗して保管する。

〔有効期限〕

本材は、包装に記載の使用期限※までに使用する。

※（例 EXP. 2028-07 は

使用期限 2028 年 7 月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元：株式会社ジーシー

発売元：株式会社ジーシー
住所：〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目2番14号
電話番号：（お客様窓口）0120-416480